



FILE No.6

九州の「地域ブランド」をご紹介します。

司

長崎県大村市の「大村寿司」は、長年受け継がれてきた郷土料理です。
その歴史は古く、1480年まで遡ります。16代大村藩主・大村純伊おのむらうじゆんいは1474年に中岳の戦い（現・大村市中岳町）に敗れましたが、その6年後、旧領奪回の宿願を果たしました。これを楽しんだ領民が領主や将兵に食事を振舞おうとしたところ、食器が足りず、もろぶた（木製の浅い箱）に魚や野菜を載せて押し寿司を作ったことが大村寿司の起源と云われます。兵が脇差わきざしで四角に切って食べたことから、「角寿司」とも呼ばれています。
その後、板の席の定番として広まり、一般家庭にも定着しました。現在では土産物として駅や空港で売られ、市内の専門店でもほんのり甘い大村寿司が味わえます。



地域と
共生する
FFG

愛され続ける郷土の味

長崎の 大付寿司

